



ゆかりの寺シリーズ その21

加藤清正 ゆかりの寺

「本圓寺（日蓮宗）」



本圓寺にゆかりの深い人物の1人に、加藤清正が挙げられます。豊臣秀吉に仕え、賤ヶ岳七本槍の1人として知られる武将・加藤清正は、日蓮宗の熱心な信者。本圓寺の復興にも尽力し、開運門と呼ばれる山門や経蔵を寄進。朝鮮へ出兵する折には、両親の遺骨や、自身の肉や歯、頭髪などを石棺に納め、生前墓を本圓寺に建てました。

本圓寺の歴史は、鎌倉時代に遡ります。建長5年（1253）、日蓮上人が鎌倉に庵を構え、法華堂と名付けました。10年後には大光山本國土妙寺として創建。貞和元年（1345）には、光厳天皇の勅命によって京都六条に移転し、立正安国・国祐護国の大道場本圓寺として広大な寺領を拝領しました。本圓寺が京都へ移転した時の住職・日静上人は、足利尊氏の叔父。その後、戦乱や大火で幾度も危機を迎ますが、その度に復興し、現在は山科に伽藍を構えています。



本圓寺

清正公廟の加藤清正が用いた
蛇の目と桔梗の紋加藤清正の墓所
(清正公廟)開運門
(加藤清正が寄進した門を移築)

「夏の子ども会」（善教寺本堂）
講師 堀靖史師（東広島市志和町光源寺）
* 善教寺仏教婦人会主催
七 月末に開催予定
・仏さまの話を聞き、本堂でゲームをします。
・昼食は、佛教婦人会役員さん手作りカレーを頂きます。



ご縁に感謝
善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/>

「初参式」（善教寺本堂）
五月二十七日（土）午前九時半
内容：読経、法話、記念品贈呈、写真撮影
「宗祖聖人月忌・門信徒祥月命日法要」（善教寺本堂）
六月十六日（金）午後一時半
*毎月十六日に本堂において勤めております。
*善教寺仏教婦人会主催

